令和８年度　おおいた動物愛護センター「動物愛護教育活動（出張型授業）」実施要領

１　目的

動物との交流や動物愛護教育活動等を通して、共生意識の醸成、生命尊重、友愛及び平和の情操の涵養に資する。

２　実施日及び休業日

（１）「動物愛護教育」実施日

○サクラネコ手術日（月２回）は繁忙のため、原則として出張型授業は休みとします。

（２）「動物愛護教育」実施学期

○第１学期（4 月 1 日から 8 月 28 日まで）

○第２学期（9 月 1 日から 12 月 28 日まで）

○第３学期（1 月 1 日から 3 月 28 日まで）

（３）「動物愛護教育」の休業日

○土・日曜日、祝日、年末・年始休業日、各学期末の３日間（8/29・30・31、12/29・30・31、3/29・30・31）。

３　対象

○原則として、県内の学校（幼小中学校・高等学校、特別支援学校等）とします。

※教育委員会等、教育関係諸機関（以降「関係諸機関」）は学校と同様とします。

４　教材と選定

（１）教材

①動物の命と心　②私たちと動物とのかかわり　③犬の誕生と子育て奮闘記

④おばあちゃんの元気とネコ　⑤私を捨てないで　⑥さいごの時まで　⑦犬を飼うってステキですか

⑧とりとめた命、みけネコぷんちゃん　⑨ある犬のお話　⑩日本初のセラピードッグ

⑪ネコのトムの命を救って　⑫みいちゃんの命（安楽死）

（２）教材・教科の選定及び学習展開

○教材・教科の選定及び学習展開については、学校側の要望を重視し、より充実するよう、協議します。

５　開催様式

（１）授業時間

○犬猫の食事時間等を考え、授業時間は、原則として、10:00～15:00 程度。

（２）授業場所

○原則として「教室」。　※複数学年の場合は学校と協議（特別教室、体育館等）。

（３）授業集団単位

○原則として「学級」単位。　※人数過少の場合や学校行事等に配慮し、複数学級・複数学年も可。

（４）授業日のスケジュール作成

○学期ごとにスケジュールを作成します。授業希望日は、学校と協議の上、決定します。

〇学校からの申込期間はそれぞれ、

・1 学期分は、「4 月 1 日 9：00～5 月 31 日 16：00」、

・2 学期分は、「7 月 1 日 9：00～9 月 30 日 16：00」、

・3 学期分は、12 月 1 日 9：00～1 月 31 日 16：00」

とします。

〇申込み決定は先着順とします。なお、授業可能日が満了となった場合は受付を終了します。

（５）学校にお願いする事項（授業実施日数）

〇学校からの授業依頼が増加して、申込みに応じられない状況が昨年度から見られるようになりました。

それで、今年度からは、各学校の授業日数は 2 日以内にさせていただきたいと存じます。

つきましては、以下 3 点についてお願いします

※学校内で、実施学年、実施日等を調整願います。

※小規模校（5 学級以下）においては、1 日に収まるように学校内調整をお願いします。

※申込担当者の先生は、授業実施日及び実施学年の把握・調整をお願いします。

（６）各学校への周知方法

〇年度当初、「命の授業」の全体概要に係る依頼文書を、県教委・市町村教委・各学校宛に送信します。

※依頼文の鑑文書、添付資料（実施要領・「命の授業」の概要・活動申込書）

（７）学校・団体からの申込方法

〇学校等は、自校で協議の上、別紙「『命の授業』活動申込書」を提出願います。

〇学校等は、センターと事前協議（30 分程度）をお願いします。

※「命の授業」未実施校での事前協議については、原則としてセンターから学校に出向きます。

※「命の授業」実施経験校は、電話による事前協議でも差支えありません。

おおいた動物愛護センター「動物愛護教育活動（来館型授業）」実施要領

１　目的

動物との交流や動物愛護教育活動等を通して、共生意識の醸成、生命尊重、友愛及び平和の情操の涵養に資する。

２　実施日及び休業日

（１）「来館型授業」実施日

〇原則として通年単位で受け付けます。

〇サクラネコ手術日（月２回）は、原則として「社会見学等」の受付が出来ません。

〇来館型授業と出張型授業は、同日施行が可能な場合もあります。

（２）「来館型授業」の休業日

〇土・日曜日、祝日、年末・年始休業日、各学期末の３日間。

３　対象

〇県内の学校や教育関係諸機関、団体等。

※その他、状況に応じて検討します。

４　内容

〇センター紹介ビデオの放映

〇動物愛護センターの施設見学（管理棟、動物保護棟の一部）

〇上記を基本として、学年に沿った学習内容に係る説明

〇モデル犬とのふれあい、聴診器で心音を聞く等の活動

※「少年自然の家」帰途の見学時は、子どもの疲労や学校帰着時間等を鑑み、犬との交流はありません。

５　受入人数

〇本センターの施設許容量等を考慮し、原則として、受付人数は 120 名以内とします。